

平成30年度八王子市立小学校使用教科用図書調査研究報告書（選定資料作成委員会）

種目 道徳 (1/1枚目)	発行者名 調査の観点	東京書籍	学校図書	教育出版	光村図書出版	日本文教出版	光文書院	学研教育みらい	廣済堂あかつき
1 内容 (1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。 (2)児童の発達段階に対して配慮しているか。 (3)各学年にわたる内容の取扱いに対して配慮しているか。 (4)児童の意欲、関心を引き出す配慮をしているか。	(1)内容項目の四つの視点について、目次に分かりやすく表示されている。 (2)文字の大きさや分量、挿し絵等、各学年に相応しいものが掲載されている。 (3)内容の取扱いについて、使いやすいうように配慮されている。 (4)挿し絵や写真を大きく掲載する配慮があり、児童にとって興味や関心を引くものとなっている。学習案内役のキャラクターとともに学習に取り組む設定にしている。	(1)学習活動と読み物が2つの冊子に分けられていて、道徳的価値を学びやすいように工夫がされている。【別冊読み物あり】 (2)文字の大きさや分量、挿し絵等、各学年に相応しいものが掲載されている。 (3)内容の取扱いについて、使いやすいうように配慮されている。 (4)教材の間にコラムを差し込み、各学年の児童の興味・関心のある題材を取り上げている。	(1)内容項目の四つの視点について、色とマークを使って分かりやすく表示されている。 (2)文字の大きさや分量、挿し絵等、各学年に相応しいものが掲載されている。 (3)内容の取扱いについて、使いやすいうように配慮されている。 (4)学びの手引きに、吹き出し等の表記を入れて、どのように考えればいいかを分かりやすくし、意欲を高めようとしている。	(1)教材ごとに内容項目の四つの視点が色やマークで分かりやすく示されている。 (2)文字の分量、挿し絵等、各学年に相応しいものが掲載されている。文字のサイズは、B5版に合わせた大きさと考えられる。 (3)内容の取扱いについて、使いやすいうように配慮されている。 (4)表紙に児童の関心のある絵を使い、統一感のある出来になっている。	(1)教材に専用のノートが付いていて、内容項目が学習しやすいように工夫されている。また、四つの視点の何を学ぶかについて、色やマークで、各教材ごとに分かりやすく表示されている。【専用ノートあり】 (2)文字の大きさや分量、挿し絵等、各学年に相応しいものを掲載している。 (3)内容の取扱いについて、使いやすいうように配慮されている。 (4)挿し絵や写真に、児童の関心を引くようなものを掲載している。	(1)内容項目の四つの視点について、分かりやすく表示されている。目次に色とマークを使い、内容項目の四つの視点の何を学ぶのかが分かりやすくなっている。 (2)文字の大きさや分量、挿し絵や写真等、各学年に相応しいものが掲載されている。 (3)内容の取扱いについて、使いやすいうように配慮されている。 (4)コラムで話題性のある内容を取り上げ、児童の関心を高めようとしている。	(1)各教材のページの先頭に色やマークの表示を使い、内容項目の四つの視点の何を学ぶか分かるようになっている。 (2)文字の大きさや分量、挿し絵等、各学年に相応しいものが掲載されている。 (3)内容の取扱いについて、使いやすいうように配慮されている。 (4)巻頭の見開きに写真のページと詩を入れて、学習への意欲を高めるようにしている。	(1)教材に専用のノートが付いていて、学びやすくなっている。また、内容項目の四つの視点は巻末にまとめている。【専用ノートあり】 (2)文字の分量、挿し絵等、各学年に相応しいものが掲載されている。 (3)内容の取扱いについて、使いやすいうように配慮されている。 (4)道徳の学び方のページを入れて、どのように学ぶかを分かりやすくしており、児童の意欲を高める手立てとなっている。	
2 構成及び分量 (1)内容は全体として系統的・発展的に構成されているか。 (2)各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮しているか。	(1)導入教材、本編教材、付録教材の3つで構成されており、道徳の授業にスムーズに接続できるようになっている。振り返りのページがあることで児童一人一人の記録の積み重ねを確認することができ、心情の変化を追うことができる。全学年で「重点指導内容」として設定している内容項目については繰り返し学習できるようにしている。 (2)各学年の配当時間の授業を行うために十分な数の教材を用意している。 ※児童の主な記入スペース：巻末に1時間ごとの振り返り、長期休業前に記入する箇所がある。	(1)学校行事の関連や内容項目を平均的に取り上げているなど児童が進んで学習できるように配慮している。発問等の学習内容は別冊になっており、学習活動の場面に応じて活用することができる。繰り返し学習することができるため長期的に学びの深まりを実感できるような構成となっている。 (2)年間35時間分(1年は34時間)の道徳授業を保障するための教材数で構成している。読み物教材は教師の範読が5分程度を想定し、45分授業に適した分量が設定されている。 ※児童の主な記入スペース：別冊「活動」で内容項目により、発問に対し書く欄あり。最終ページは日付とマークで振り返る。	(1)発達段階や題材の系統性に配慮し、4つの領域の内容をバランスよく配置している。多様な考えをもった児童の立場を考慮して印象的、感動的な教材を用意している。学校の年間行事と関連させて指導ができるよう教材を配置している。学年の巻頭にはオリエンテーション、巻末には学習の振り返りができるように工夫されている。 (2)各学年とも、配当時間は35時間(1年は34時間)を想定し、年間を通してゆとりをもって授業展開ができるように配慮している。 ※児童の主な記入スペース：学びの振り返りのページがある。	(1)全学年にわたって「生命の尊さ」について重点が置かれている。児童が命の大切さを考えられるように意図した編集がされている。教材はすべて見開きで始まり、身近な問題、自分の問題として取り組むことができるようになっている。学習指導要領に示された内容項目が全ての学年に網羅されており、6年間を通してバランスよく配置している。 (2)発達段階を考慮し、教材のページを設定している。挿絵を配して読みの負担を軽減している。 ※児童の主な記入スペース：学びの程度書く欄がある。	(1)生活目標や学校行事、他教科の学習内容、伝統的な行事の実施時期などの関係を考慮して教材を配列している。学級づくりや学校生活の充実、よりよい人間関係の形成、深化、発展を意識した内容項目や教材が配列してある。 (2)内容項目は過不足なくおさえており、重点項目は複数の教材を掲載している。主教材の他に付録として3～4教材を納めており、多様な教材を参考にすることができる。 ※児童の主な記入スペース：別冊ノートに毎時間、発問に対する自分の考え・友達の意見・発問に対する自分の考えを書く欄を広くとっている。	(1)より深く考えさせたい内容を重点主題として複数時間で扱い道徳的価値の理解を深めることができる。学習時期と学習教材の季節が一致するように教材を配列することで、児童が自分のこととして捉えやすいように配慮してある。各学年のオリエンテーションが8ページあり、親しみやすい構成になっている。 (2)教材の文章量は、内容がわかりやすく、かつ時間が十分取れるよう発達段階に応じた配慮をしている。 ※児童の主な記入スペース：学びのあしあとして、一言ずつ記入する欄がある。	(1)主題名を意図的に省くことで、子供自ら学習課題について考えることができるようになっていく。児童の発達的特質に適した作りになっており、身近な問題や自分の問題として取り組むことができるようになっている。教材は全て見開きで始まり、教材の内容に集中しやすい構成となっている。 (2)全体の分量・配分は児童の過重な負担感を与えないよう配慮している。 ※児童の主な記入スペース：2時間分で2ページ程度、発問に対する自分の考えを書く欄がある。また上下で1時間ずつ感想を書くスペースを広くとっている。	(1)教科書から、道徳の学習についてイメージを膨らませたり、学習の流れを理解したり、学ぶ意欲を高めるための工夫が見られる。各学年とも年間の授業時数に対応した教材が掲載されている。 (2)学習ノートは、分量や書き込み欄のマス大きさや罫線の幅が、児童の発達段階に考慮している。 ※児童の主な記入スペース：別冊ノートには、2時間分で2ページ程度、発問に対する自分の考えを書く欄がある。また上下で1時間ずつ感想を書くスペースを広くとっている。	
3 表記及び表現 (1)児童にとって読みやすい表現であるか。 (2)印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすいか。	(1)発達段階に応じ、文字の大きさや字体、行間を工夫している。振り仮名にはユニバーサルデザイン書体を採用し、読みやすさと見やすさを配慮している。 (2)レイアウトを工夫し、余白を取りゆとりのある紙面で、見やすく、分かりやすく工夫している。	(1)標準的な教科書体を使用し発達段階に応じた文字の大きさを使用している。学年配当漢字については、全てのルビを付けている。1、2年生は文節で改行している。 (2)カラーユニバーサルデザインの観点から、配色とデザインに十分な配慮を施している。	(1)教材の本文は、平易で簡潔な表現である。また、レイアウト、紙面作りにも配慮している。 (2)横広のAB判で挿絵や写真などが大きく表されている。実写を用いるなど、いずれも鮮明かつ明るく魅力的なものが多い。行間にゆとりをもたせ、文章を読みやすくしている。	(1)1、2年生は文節分ち書きで配慮されている。当該学年の配当漢字全てに振り仮名があり、読みの負担軽減のための配慮をしている。 (2)色覚特性をもつ児童に配慮してある。教材内容の理解を助けイメージを豊かに広げる挿絵、写真、表、グラフである。学習した他教科の内容を踏まえている。	(1)当該学年以上の漢字には、全てに振り仮名を付け、読みの抵抗を少なくするよう配慮している。テーマを示す注釈があり、資料の内容項目がわかりやすい。 (2)大きな判型(AB判)で迫力のある写真資料を使用する等、レイアウトを工夫している。	(1)3年生までは全ての漢字に振り仮名がある。前学年までに習った漢字の使用を基本とし、文節で改行を行うなど読みやすくするための配慮がされている。脚注の説明がある。 (2)大判化(A4変形版)を採用することにより、写真やイラストが引き立つように工夫している。	(1)ユニバーサルフォントを使用し、活字は大きく、見やすい書体となっている。1、2年生は読み易さを考慮した改行もしている。平易で理解しやすい記述となっている。 (2)図、挿絵は本文との関係性を配慮して表現されており、見やすく、分かりやすく工夫している。	(1)未習漢字には、全てに振り仮名を配してある。4年生までは発達に応じた分かりやすい表現を用い、5年生以降は必要に応じて脚注を付けている。 (2)判型はワイドなAB判を採用し、イラストを大きく扱い、児童にとって見やすく、親しみやすい紙面となるよう工夫している。	
4 使用上の便宜 (1)全体の構成が見通せるように配慮しているか。 (2)課題発見、課題解決に向けた学習が効果的に進められるように配慮しているか。 (3)印刷・装丁に対して配慮しているか。 (4)地域性に対して配慮しているか。	(1)教科書を導入教材、本編教材、付録の3つで構成している。 (2)教材を扱う前に児童に問題を提起し、主体的に考えられるように工夫している。 (3)印刷は鮮明で、目に優しい色を基調としている。造本・印刷において、環境アレルギーなどに配慮し、再生紙、植物油インキを用いている。 (4)家族や地域活動に関する題材を取り上げ、家庭や地域社会の一員としての役割と責任の自覚を深められるようにしている。	(1)年間35時間教材を見渡せるチェック欄が、「読みもの」巻末に掲載されている。 (2)別冊「活動」等によって多様な学習活動を通して、主体的・対話的で、深い学びができるよう配慮されている。 (3)印刷は鮮明であり、読みやすい色調である。再生紙、植物油インキを用いている。 (4)「活動」を持ち帰り、学校での学習を家庭や地域と共有できるようにしている。	(1)目次、索引は、内容項目の四つの視点で色分けし、指導者側に一目でわかるようにしている。 (2)教材を読む前に、価値についてどのように学習するのか、何が問題になっているのかなどを把握できるようにして、問題解決的な学習ができるようにしている。 (3)再生紙、植物油インキを用いている。 (4)地域の文化・伝統にふれ、地域の人々のために尽くした人物をとりあげている。	(1)年間を4つのまとまりに分け、A～Dの内容項目の四つの視点ごとに重点を置いて配置されている。 (2)教材末には「考えよう」が設けられていて、学んだことを自分に引き寄せて考えさせる活動など、問題解決型の発問を用意している。 (3)表紙は耐久性を高めるため、ラミネート加工している。環境に配慮した紙を使用し、植物油インキで印刷されている。 (4)地域参加型の学校行事を題材にした教材を、随所に配している。	(1)年間を4つのまとまりに分け、A～Dの内容項目の四つの視点に重点を置いて配置されている。 (2)教科書とは別に、学習の手引きがついており、課題解決の発問の手立てが具体的に書かれている。 (3)軽い紙を採用している。児童が持ちやすく使いやすい教科書になるように、大きく開く工夫が施されている。再生紙、植物油インキを用いている。 (4)地域教材の活用・開発に配慮し、教材の選定がされている。	(1)視点ごと、内容項目ごとに教材一覧を掲載している。 (2)教材の冒頭に「問いかけ」が書かれている。児童が「問題意識」をもって学習へ向かうことができるように工夫されている。 (3)針金を使用せず、表面に筋を入れることで丈夫で安全な教科書になる工夫がしてある。再生紙、植物油インキを用いている。 (4)家庭・地域との交流を題材とした教材や、「広げる」というページでは、考えたことを日常につなげるような活動が掲載されている。	(1)視点・内容項目だけでなく、各教科・領域との関係の一覧も掲載されている。 (2)「深めよう・つなげよう・やってみよう・広げよう」という記述や課題例、活動例が書かれている。 (3)カラーユニバーサルデザインに完全対応しており、児童の目への負担が少ない色調の用紙を採用している。環境に配慮した紙、植物油インキを使用している。 (4)日本の地域資料や家庭との交流を題材とした教材を採用している。	(1)目次には、視点・内容項目ごとに色分けされて掲載されている。 (2)決められた型やリード文が少なく、教師の柔軟な授業構成で課題発見・課題解決ができるようになっている。 (3)AB版で、ゆとりある紙面になっており、書き込みも自由にできる配慮がある。再生紙、植物油インキを用いている。 (4)別紙がついており、家庭での振り返りや地域に活かすような工夫がしてある。	
5 重点調査項目 (1)多様な題材があり、現代的な課題等、児童が問題意識をもって多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりするような教材となっているか。 (2)人権尊重の精神にかない、人間関係等を深く考えられ、よりよく生きる喜びや勇気を与えているか。	(1)「いじめ問題」を全学年で重要項目としている。「いじめのない世界へ」でとびらページを設け、問題を投げかけ児童が主体的に考えることを促す等の工夫がある。 (2)全学年の「出会う・ふれ合う」では、人間関係を築く中で、個人の価値を尊重したり個人のよさを伸ばしたりする活動ができるように工夫している。 (2)人権・福祉教育では、共生する態度を養えるよう配慮され、性別、年齢、国籍や障害など多様な立場を取り上げている。	(1)名作教材を意図的に多く揃えている。五輪教育などを含め、現代的な課題も網羅されている。別冊「活動」は、道徳的価値を広げる特設ページを内容項目ごとに設けている。教材と組み合わせ導入・終末、予習復習に活用ができるようになっている。 (2)人権・福祉教育では、共生する態度を養えるよう配慮され、性別、年齢、国籍や障害など多様な立場を取り上げている。	(1)いじめ問題・情報モラル・生命尊重は、それぞれ特別のマークで示し、重点的に扱うようにしている。名作教材を意図的に多く揃えている。偉人ページを内容項目ごとに設けている。補完教材の各学年4、5本を合わせ34時間分の資料がある。体験的な活動が2～3スキルがある。 (2)各学年ごとに巻頭と巻末にそれぞれ「道徳開き」「ふり返り」のページがあり、よりよく生きる意欲をもたせる工夫をしている。	(1)各学年ごと、巻頭に詩「みんな生きて みんなで生きている」が掲載され、生命尊重の学習の目標が示されている。いじめ問題や情報モラルは、教材とコラムとを組み合わせた配列が設定されている。 (2)自己評価の記録を残す「学びの記録」が学年4か所(1年3か所)に位置付けられている。自身の変化や成長を自覚させ、行動の指標となるようにしている。	(1)「いじめ防止」を最重要テーマとしている。現代的な課題は複数の教材を用意してあり、学級状況に応じた取り組みができるようにしてある。目次に配置がわかりやすく示されている。「心のベンチ」(教材外ページ)は異なった角度から問題を考える素材を例示している。道徳ノートを付け友達のことを書き込むスペースがあり、保護者記入欄がある。 (2)高学年に「Dよりよく生きる喜び」を意識して教材を吟味し配置している。	(1)学校の実態に応じて入れ替えられる教材5点(1年6点)がある。「生命の尊厳」「自然」「伝統と文化」「先人の伝記」「スポーツ」は発達段階に考慮し、全学年に設定されている。特に考えさせたい教材は、次ページにコラムを設け考えを深められるようにしている。 (2)「生命の尊さ」はよりよく生きる喜びにつながるよう重要主題として6年間の見通しをもって設定している。	(1)情報教育と現代的な課題への取り組みを促す。消費者教育(1、2、6年)やいじめを生まない力を引き出す多様な教材(各学年5～8教材)を設定している。 (2)「いのちの教育」を全学年の重点にし、生命の尊さを重んじ、他者と共によりよく生きることを考えさせている。また、心に響く生き方を深く考えることを意識した新たな教材、また名作・感動教材がある。	(1)読み物教材だけではなく、1枚の写真や一篇の詩、漫画や新聞記事をもとに考える教材がある。「考えよう話しよう」では発達段階に沿ってめあてと問いや発展的な深まりを促す内容がある。 (2)「生命の尊さ」を重点項目にて全学年3教材3時間の配当をし、特集ページも設けている。先人の伝記は感動を覚え、生きる喜びや勇気を与えられるよう意識している。別冊ノートに感想を書けるようにしている。	